

saturday

4

28

甘くておいしいトマトをどうぞ♪

「まやの春まつり」

「食と農」をテーマに、障害者の社会参加を援助する障害者支援センター“まや”（南多久町）で、8回目となる「まやの春まつり」が、社会福祉法人もやいの会主催で開催されました。特設ステージではカラオケ大会が行われ、中庭ではヨーヨーすくい、射的などの出店が並び大いに賑わいました。

小城市から訪れた人は「チラシを見て初めて参加しました。トマトを食べたが、とても甘くて美味しい。また来たいです」と話されました。



▲自分たちで作ったトマトを売る利用者のみなさん



▲上手にヨーヨーをすくいました



▲ボランティアの人から遊び方を学びます



▲渾身の一投を真剣な眼差しで見つめる参加者

ともだちとたくさん遊んだよ！



YouTube で動画が見れます！



第63回 多久市 子ども大会

sunday

5

6

5月大型連休最終日に、多久市教育委員会が毎年開催している「子どもクラブ大会」を今年から、「多久市子ども大会（多久っ子フェスタ）」と名称・内容を新たに開催しました。

当日はあいにくの雨にもかかわらず、市内の14の子どもクラブを中心に約170人が参加。雨天時会場となった多久市体育センターでは、バドミントンシャトル弓矢や風船を使ったカーリングの「ヌーリング」など、さまざまなミッションゲームを行い点数を競いました。子どもたちは「楽しい！早くつぎのゲームをやりたい！」と笑顔でレクリエーションを楽しんでいました。

Monday

5

7

消防団の新たな戦力！

ドローン隊導入に向け辞令を交付

県内初の消防団によるドローン隊の発足に向け、多久市消防団の陣内成和団長が、ドローンに精通した市職員の江打邦彦さん（北多久町）を機能別団員に任命し、横尾市長が激励しました。

陣内団長は「ドローンの導入によって団員の安全確保、災害時や行方不明者の捜索時の状況確認、さらにAEDの輸送も可能です。さらなる市民の安心・安全に繋がりたい」と話されました。江打さんは、ドローンの知識と操作にたくわしく、これまでもドローンを活用して市の動画作成に協力されています。

実用化に向け、これから隊員を募り、江打さんが訓練を行っていきます。



▲辞令書を持つ江打さん（中央）と陣内団長（左）、横尾市長（右）

▲陣内団長から辞令を受ける江打さん

まちのわだい